

第1部門A 伝統・日本

ニツ折はがき こうの 河野 りょういち 良一 (香川県) ⑤

この作品は、日本で最初に発行されたニツ折の紅枠はがきと脇付はがきと脇なしはがき3点をそれぞれ市内用半銭と市外用1銭の2種に区分し展示したものです。構成は紅枠はがきで1フレーム、脇付はがきで1フレーム、脇なし半銭はがき1フレーム、脇なし1銭はがき2フレーム、合計5フレームで展開しました。作品の特徴は、使用例特に消印の多様性に重点を置き、加貼例もこだわった。主たる展示品は、紅枠1銭(イ)タイプ2の6年12月使用や同1銭の大阪局の7年1月使用、脇付1銭の最初期使用は過去のデータ更新です。他にも龍半銭加貼例やはがき印面切取加貼も興味深いと思います。この分野の収集歴は浅いですが参観者の皆様にも楽しんで頂けましたら幸いです。

手形はがき (紅枠・脇つき・脇なし)

1. 作品の対象
この作品は明治6年12月1日に発行された二ツ折りの最初の紅枠半銭、1銭はがきから次に7年2月に発売された脇つき半銭、1銭はがきと最後に同年4月1日に発行された脇なし半銭、1銭はがきの6種類を未使用と使用済で収集、整理したものである。半銭は市内、1銭は市外用料金対応のはがきである。
2. はがきの特徴
 - ① 紅枠はがき
半銭、1銭ともに枠線が赤いところから「紅枠はがき」と称し印面表示は「郵便切手」でいずれも管理番号の仮名「イロハニ」の4種がある。
 - ② 脇つきはがき
半銭、1銭ともに表面に「郵便はがき印紙」と印刷したところから脇付きはがきと称されている。印面は「郵便切手」で管理番号はいずれも仮名「イ」のみである。3面には通信文の記載を防ぐため新たに規則書を印刷した。
 - ③ 脇なしはがき
印刷コスト軽減のため単色で半銭、1銭ともに印刷された。印面は「郵便切手」から「郵便はがき」に変更され表面の「郵便はがき印紙」は削除されたので脇なしはがきと称されている。印面の管理番号はイロハニ半銭で仮名「ロヘツ」の16種、1銭では仮名「ロヘエ」まで33種存在する。
3. 作品の構成
 - ① 紅枠半銭はがきを5リーフ、1銭はがきを6リーフの1F
 - ② 脇つき半銭はがきを6リーフ、1銭はがきを6リーフの1F
 - ③ 脇なし半銭はがきを1F、1銭はがきを2F
以上3部構成の5フレームで展示する
4. 参考文献
二ツ折りはがきハンドブック、大島正昭二ツ折りはがき、日本通常書書受電郵便研究、仙台郵便、各書二ツ折りはがき作品集、郵便消印百科書典、その他。

紅枠1銭はがき
仮名(ロ) タイプ2



抹消印 不統一 内藤新宿快 証示印 KG 内藤新宿、武蔵重島 7.25
到着印 N1B1 東京 明治 7.25.午後

脇つき二ツ折り半銭はがき
仮名(イ) 4版 規則書・狭幅



抹消印 N1B1 東京 7.4.24.日中 証示印 N1B1 東京 同上

抹消印 台紙子一潰れ 龍半銭加貼 証示印 K B1 大阪 摂津 1.18.午前 伏見宛市外1銭料金

脇つき二ツ折り1銭はがき
発行 明治7年2月
仮名(イ) 最初期使用 2版 規則書・広幅



抹消印 N1B1 東京 明治 7.2.18.午後 証示印 N1B1 東京 同左
到着印 N1B1 西京 明治 7.2.21.日中
脇つき1銭はがきの発売日は不明だが従前東京7年2月20日郵便使用が最初期使用であったが本例で2日間更新した